



冬休みの

クリスマス  
パーティー

～おたすけ皮化キット2～





メリー  
クリスマスー  
マースー!



ママとあたしで  
一緒に作った  
ごちそうもあるし  
今日は楽しんでいってー

あれ?  
キミは何してたのよ

…え  
オレ?

りようは  
ずーっと  
ゲームしてたんよねー?  
ママとあたしが頑張ってる間

だーって  
しょうがないじゃん!  
冬休みしよっぱな  
なんだぞ!



それに比べて  
やすひろ君は  
エライやんねー

いつも休みの  
最初の方で  
宿題おわらせるもんなん  
今日はやらなくていいのかなー?

へー、りようくん  
今回はひとりで宿題  
がんばるんだ  
えらいねー

は  
は  
は  
そんなケチなこと  
言うなよー

一週間前



ええ!

毎年  
クリスマスパーティー  
やってるの??

え...  
うん



な、な、な、な、な  
なんで教えて  
くれなかったんだ  
よおおお

うわーッ  
声だけでけーよ!



ああ、ゴメン...  
でもひどいじゃないか  
僕たち友達じゃないの?  
それにクリスマスパーティーってことは  
ひとみお姉さんもいるんだろう?

だってやすひろ  
24日ってアレだぞ  
だいたい冬休みの  
初日とかだぞ



それがどうしたんだよ  
長期休暇中でも  
僕たちは一緒に遊ぶじゃないか

いや  
最初の2、3日は  
ずーっと宿題  
やってるだろ

あ...  
そういえばそうだった

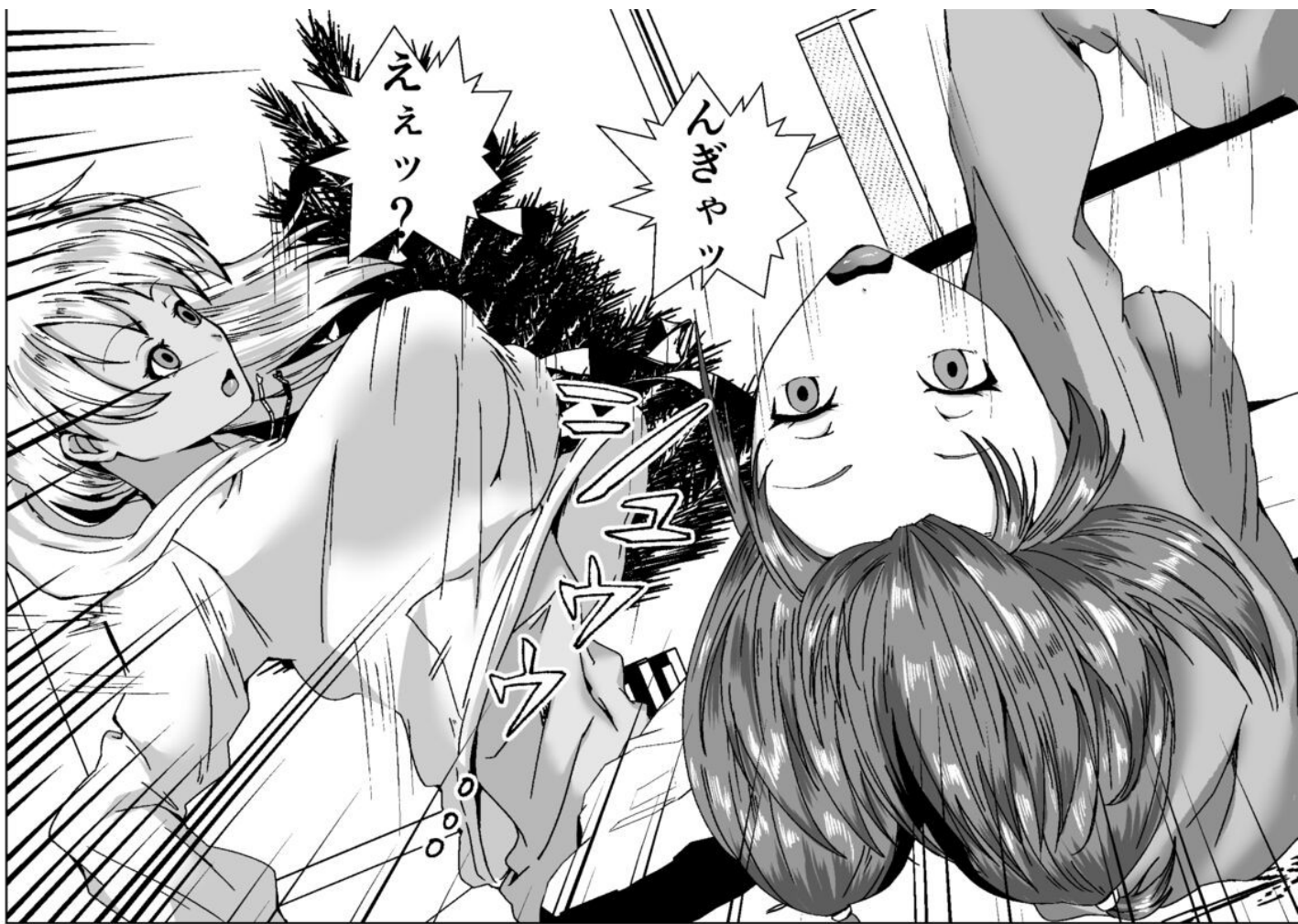
だから誘っても  
来ないとおもってさ...  
わるいわるい  
...今年来る?

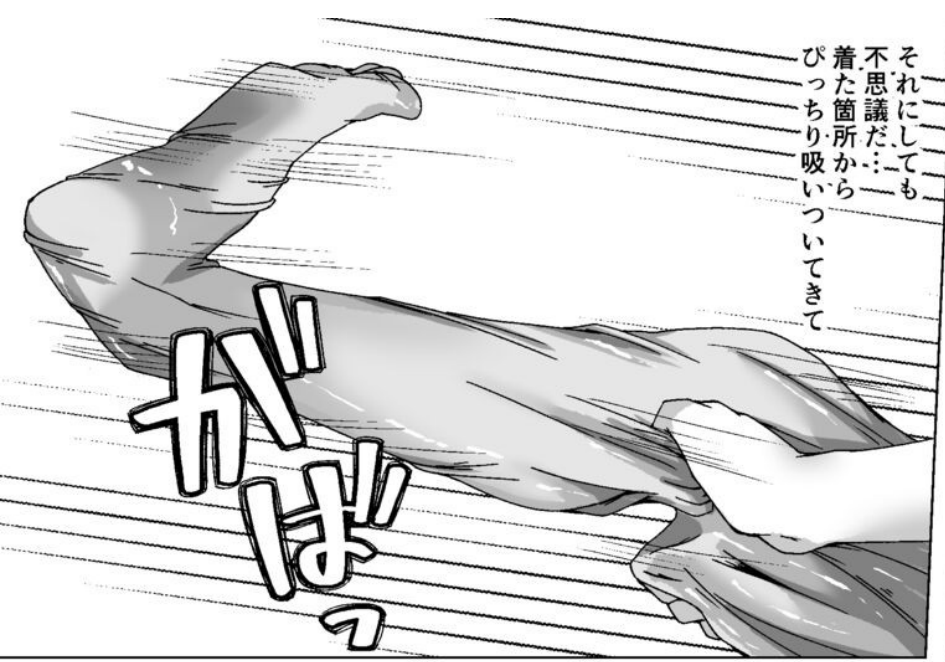
いつも言ってるじゃんか  
「ぼくは終わらせてから  
遊ぶ派だからね」って

いく!もちろんいく!  
じゃあまた「新製品」  
持っていくから  
女体勉強会やろうよ

うへへ...  
楽しみだなあ...







それにしても  
不思議だ...  
着た箇所から  
びっちり吸いついてきて

かばっ  
かばっ



本当にちょうどいい  
サイズに変わるんだもんね

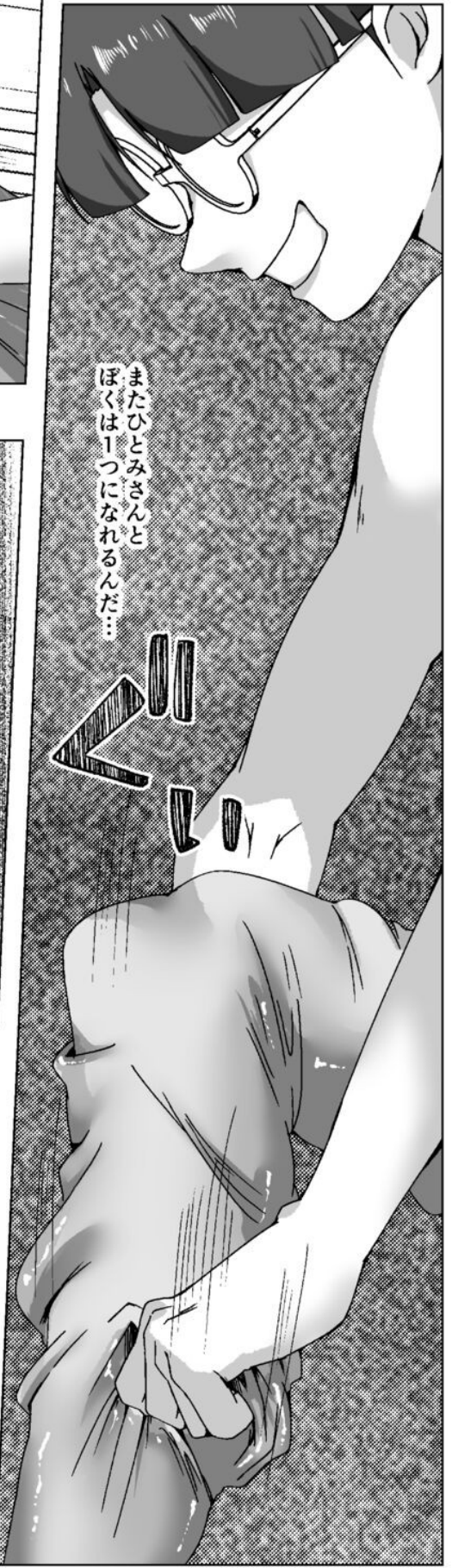
ぐい  
ぐい  
よっと...



ほどよく引き締まった  
お腹もいいなあ  
みずみずしい  
肌ざわりだ...

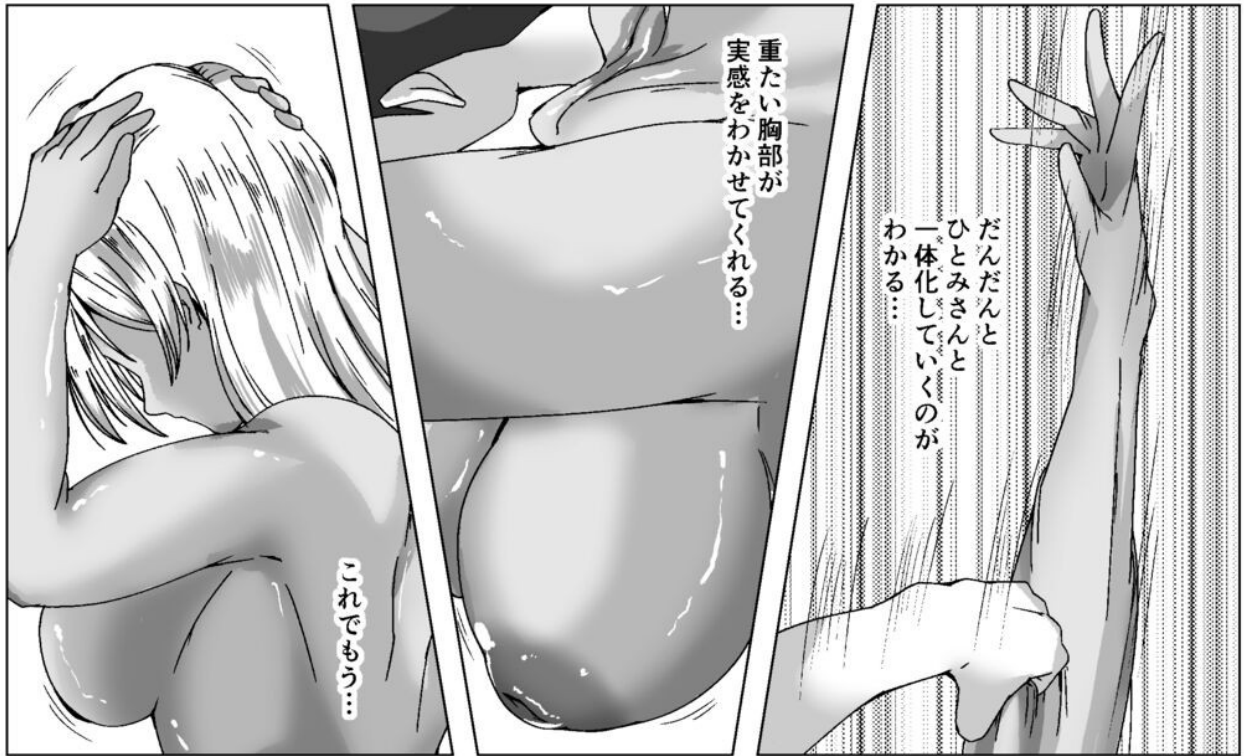


ムッチムチの太もも...  
この足に挟まれてみたいな  
今は着てるから  
できないんだけどね...



またひとみさんと  
ほくは1つになれるんだ...

く  
く  
く





…って  
あれ？  
なんでからちんちんが  
生えてくるんだ？

オレまだ  
出してないんだけど

もしかして  
ねーちゃん達…  
生えてたのかッ？

いやそんなワケ  
ないでしょ…

これが  
皮化キットの  
新製品の機能さ  
え…となになに  
「女性の皮を  
男性が着ると  
陰茎が備わるように  
改良致しました」  
ふうん…

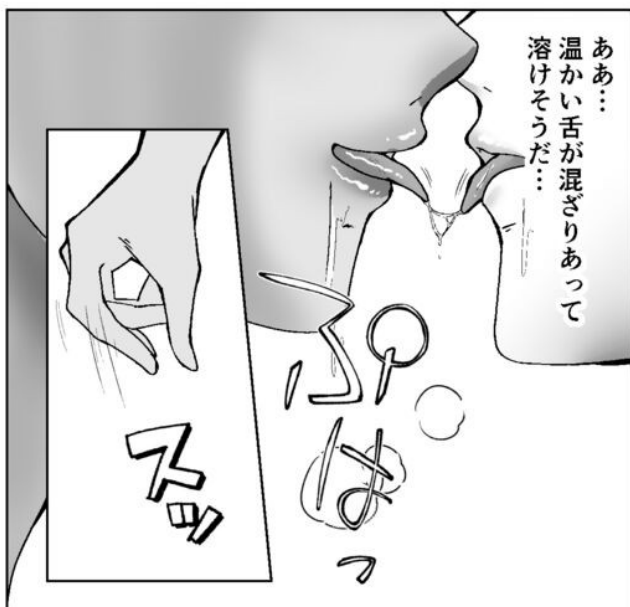
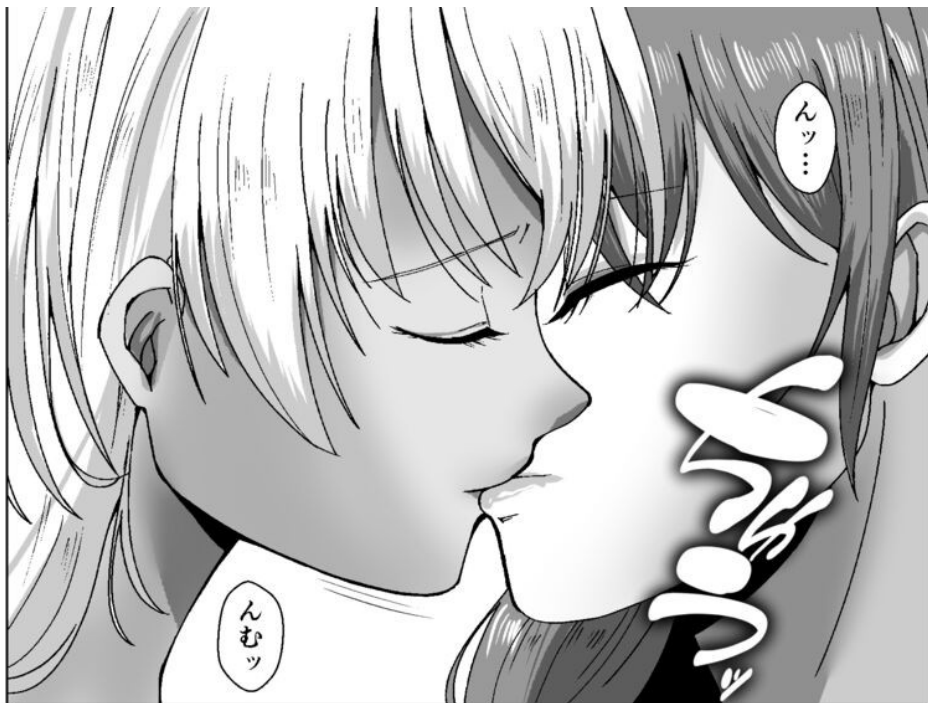


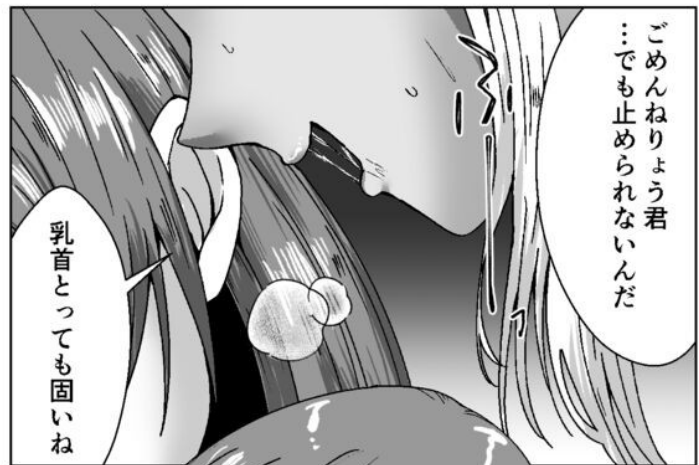
つまり  
男性器と女性器  
両方付いてるんだよ  
これをふたなりと言うんだ

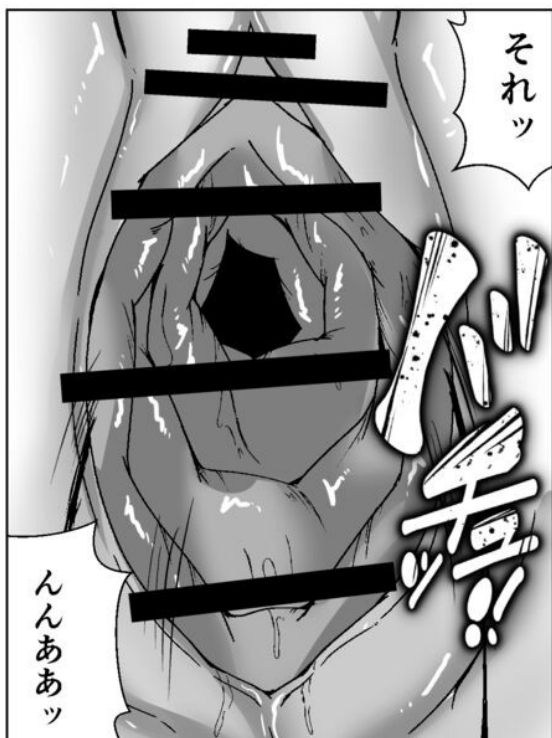
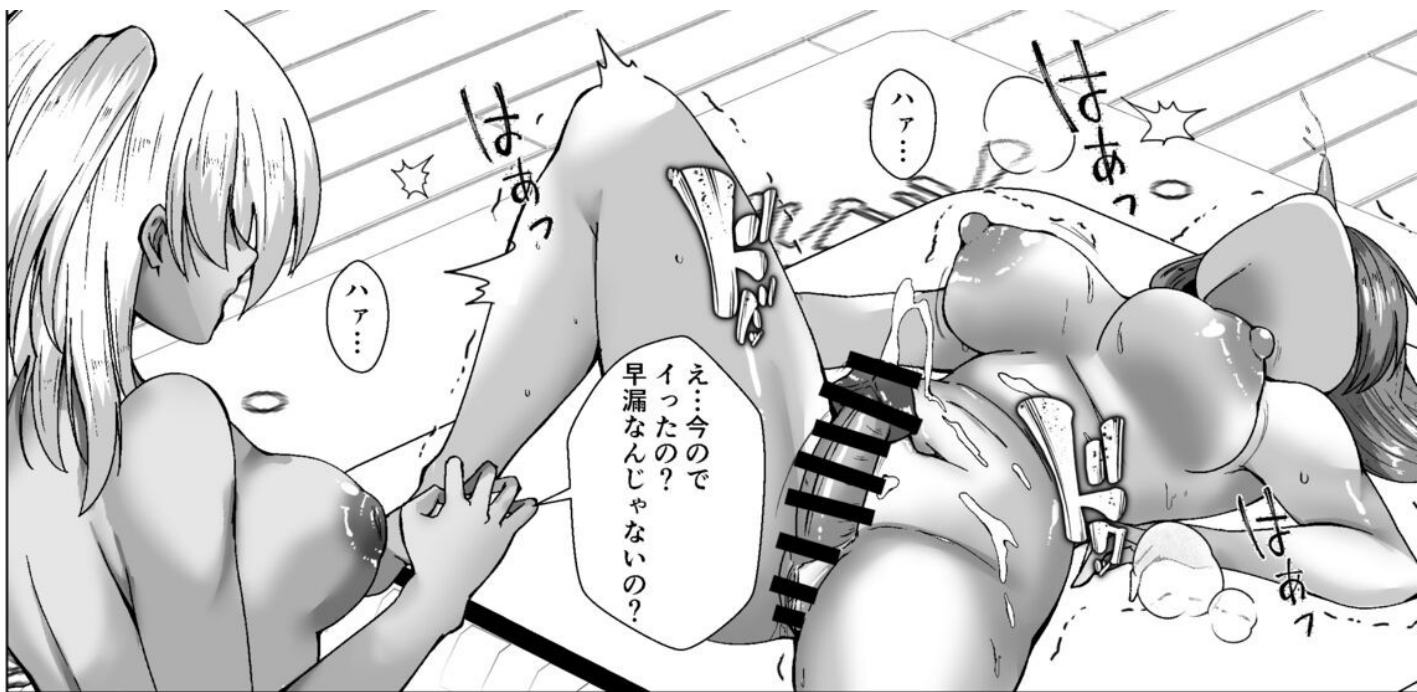
へえ！  
なんかお得だな  
しかも1+1で強そうッ

うーん…

…そ、そうだね



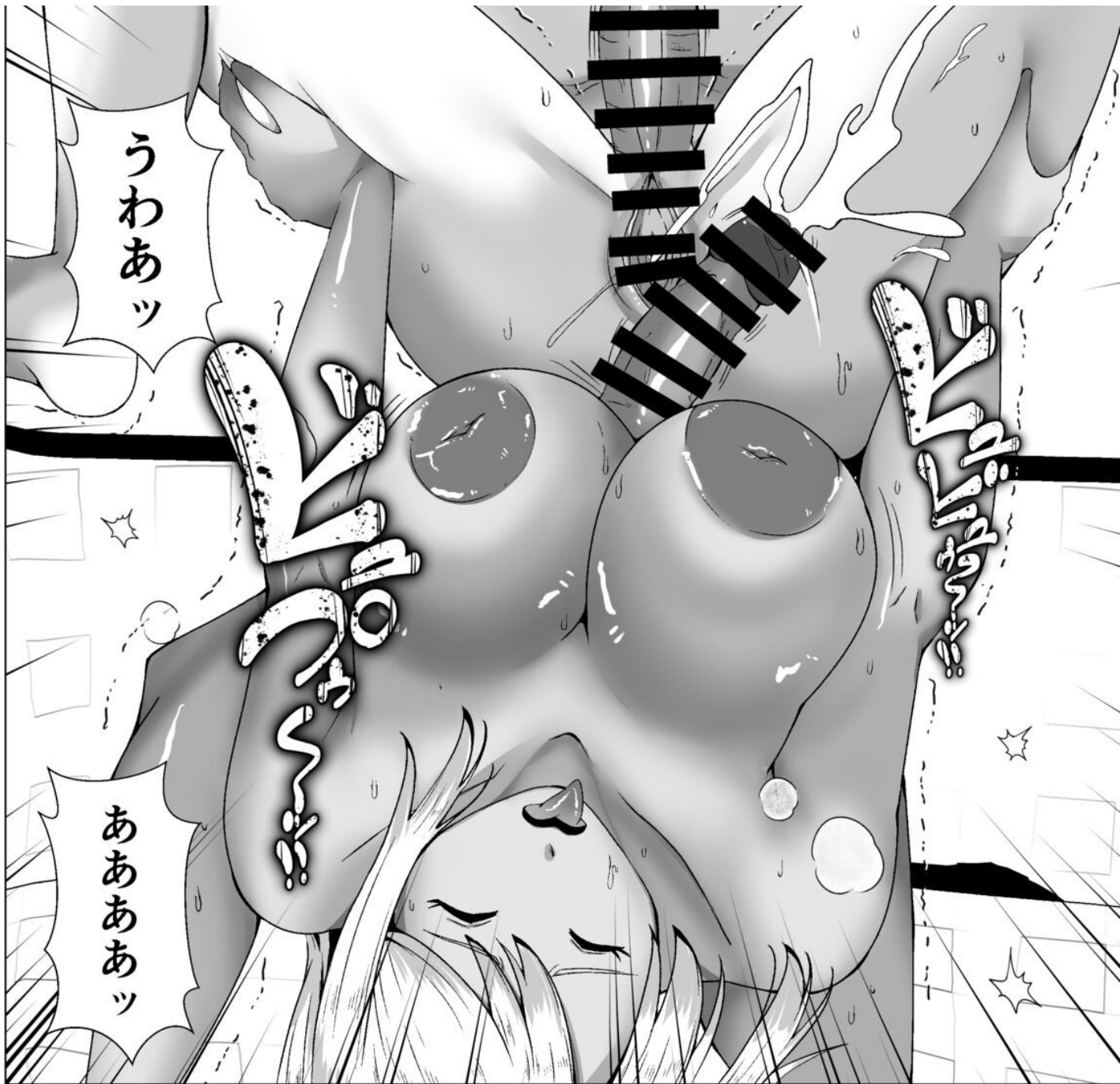














なんだよ…  
結局10分も  
もたなかったじゃんか

ふん…  
胸をもまれるのは  
計算外だったただけだよ…



本当に…揉むなら  
もっと丁寧に揉んでくれよ…  
ひとみさんの玉の肌  
何かあったら  
僕はどうすればいいんだ…



あーもうッ  
じゃあオレが  
ねーちゃん着るから

やすひろが  
まいねーちゃん着て  
そのままやろうぜ！

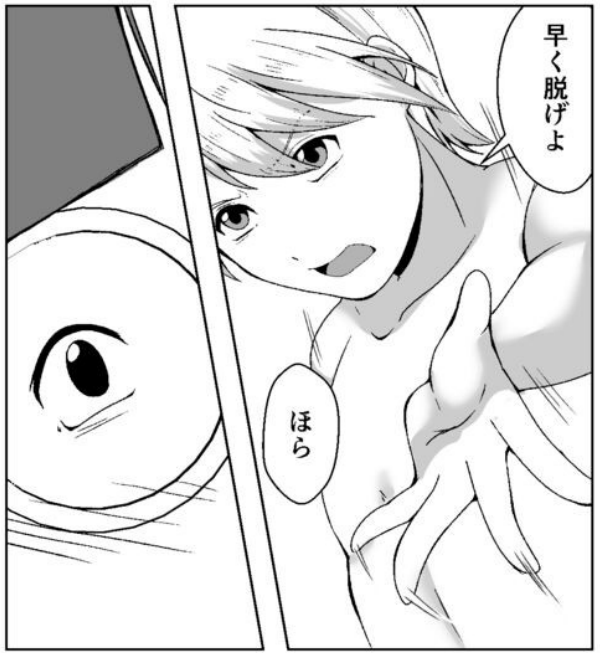
かほっ

めんどくさいったら  
ありゃしないや



僕が、ひとみさんに  
挿れる…？

この前みたい  
なべらべらの皮じゃなくて  
動く、ひとみさんに…？



早く脱げよ

ほら



今までずっと  
僕が着ていたから

客観的に  
見るのははじめ、



め、目の前で  
ひとみさんが  
着られていく...

べらべらだった  
ひとみさんに  
生が宿る...



おい  
なにブツブツ  
言ってるんだ

りょうくん!  
君がしゃべったせいで  
台無しだよ...



アチャッ

美しい...

女神さまがいたらきつと  
こんな風貌に違いない...



せっかくの  
女神の降臨を  
これ以上ないほどに  
堪能していたのに  
君という人は...

う、うるせー  
いいから早く着ろッ  
なんか恥ずかしくなってきた



…いや  
まずは胸のチェック  
をしないと…  
あとひとみさんは  
そんなこと言わない



ほ…ほらほら  
ひとみお姉さんどうぞ  
早くやってみるよ

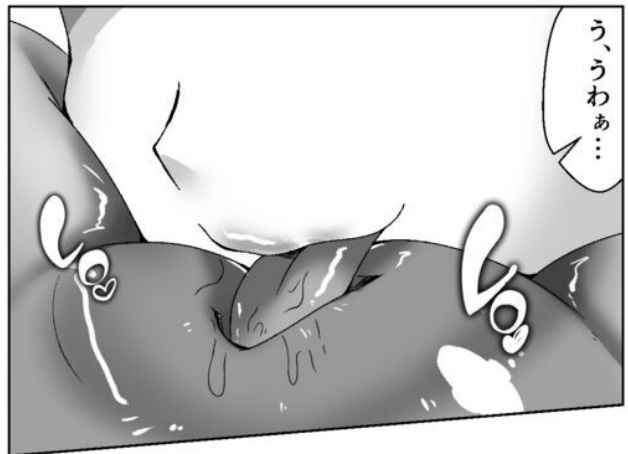


「はぁ…」  
…

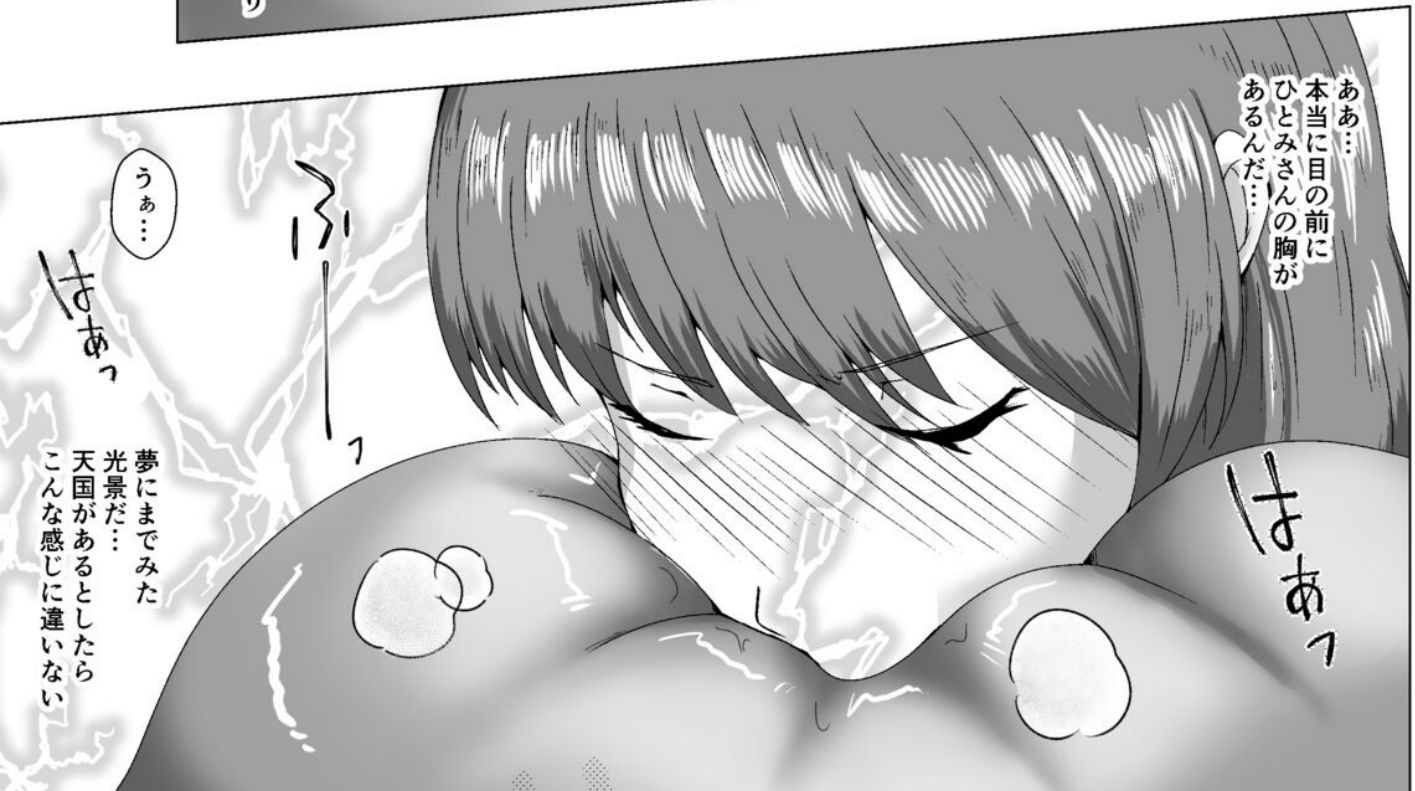


これがひとみさんの  
胸の味…舌触り…

忘れないように  
じゅっくり、ゆっくり  
舐めないで…



う、うわあ…



ああ…  
本当に目の前に  
ひとみさんの胸が  
あるんだ…

はぁっ

うあ…

はぁっ

夢にまでみた  
光景だ…  
天国があるとしたら  
こんな感じに違いない



お、おい…  
おっぱい舐めるのも  
いいけど…

なんだよ  
今丹念に胸を  
確かめているんだ

もみ♡



なんか今日オレ…  
挿れられて  
ばっかりじゃない…？

この前の  
逆なだけだよ…  
ほら、いく、よッ

ああんッ



はやく終わらせないと  
かーちゃん達が、  
帰ってきちまう…って…

…それもそうだね…  
じゃあこのまま  
舐めながら…



んんッ



ああ…これは  
三角型だね…  
カリ高だから感じやすい  
のかもしれないね…

あああッ

もっと、もっと  
噴いてくれッッ



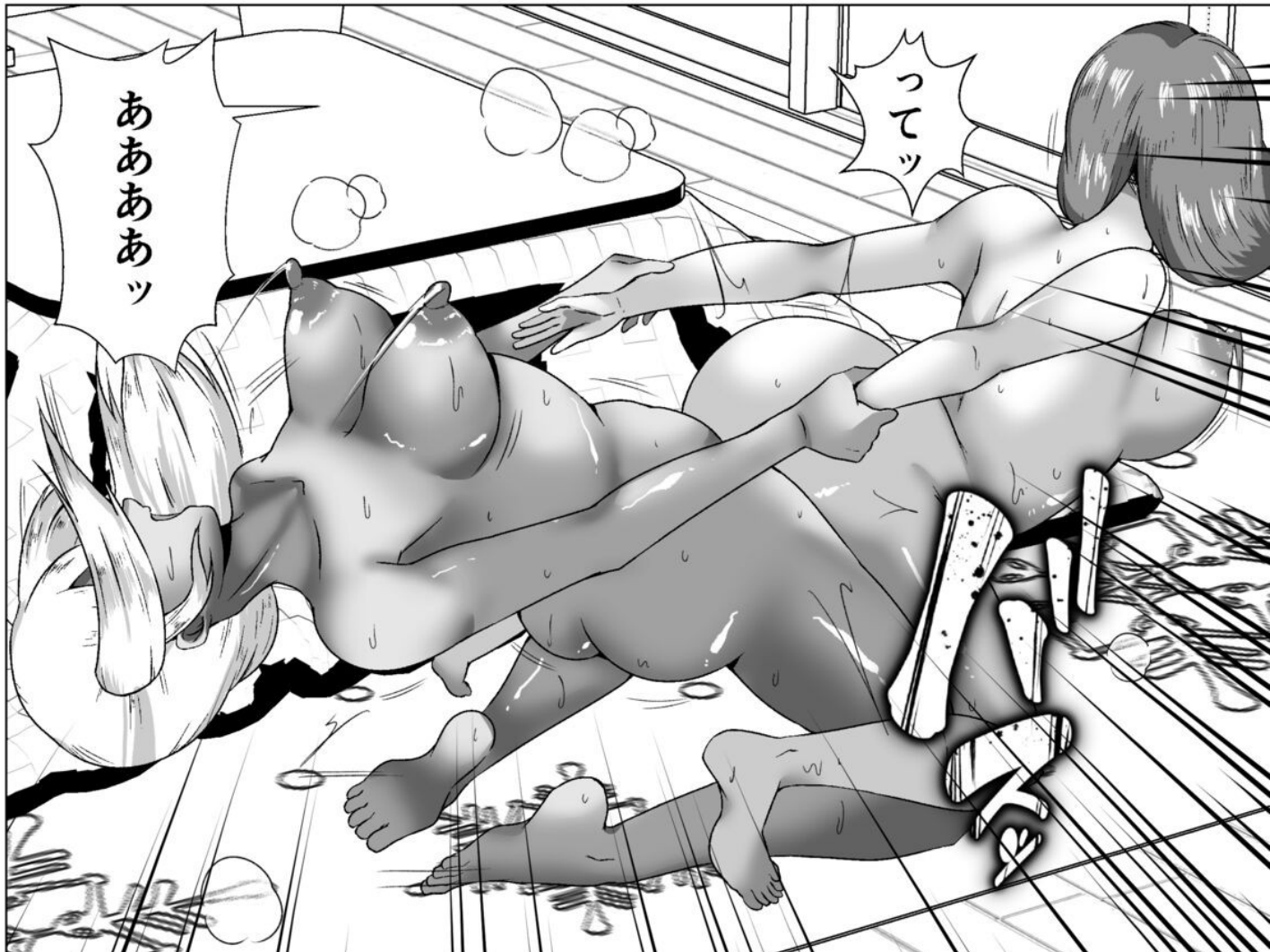
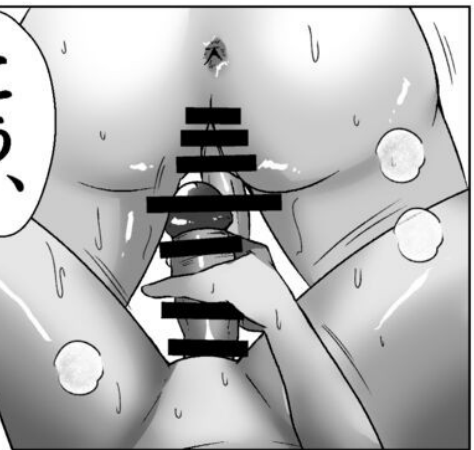
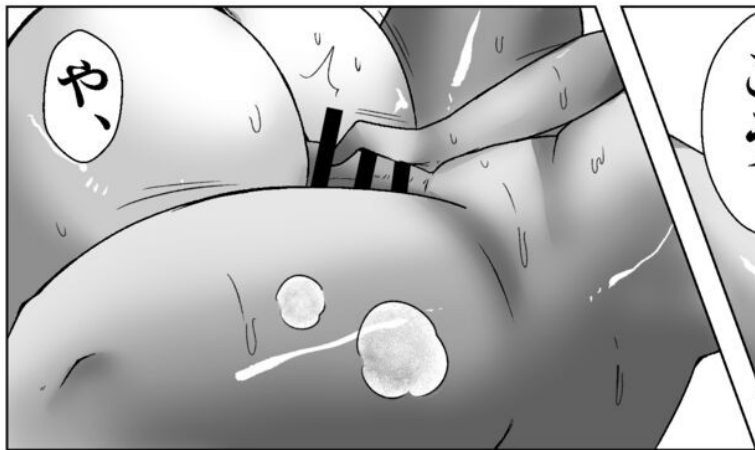
なんか、  
まいねーちゃんの  
ちんちん…  
ねーちゃんのとちがう…ッ

あッ  
だめだめッ



ひ、ひとみさんが  
潮を噴いている…ッッ  
聖水ッ間違いない、聖水だッ

あああああッ  
はあああああッ





あああああッ

こ、こんなッ  
ど、どっちが主導権を  
握っているか  
わかったもんじゃないッ

どっちでもいいだろッ  
そんなの…ッ

こ、こんな非常識な  
体勢でッ  
どうやって動くんだよッ

オレに、まかせろッ



も、もう…

くる…ッ

くるくるくるくる  
クルクルクルクルクルッ



気持ちよく勉強できれば…ッ  
それで、いいんだろ…ッ

あッあッあッ







